**衆議院選挙・小選挙区の予定候補者発表にあたって**

　　　　　　　　　　　　　　２０１４年１１月１８日　　　日本共産党石川県委員会

　総選挙をたたかう日本共産党の公認候補者として、石川一区に亀田良典（かめだ　りょうすけ）さん、石川二区に西村祐士（にしむら　ひろし）さん、石川三区に渡辺裕子（わたなべゆうこ）さんを、擁立します。

　日本共産党石川県委員会は、亀田良典・西村祐士、渡辺裕子小選挙区候補を先頭に、比例代表では県内４万３千票を実現し、藤野やすふみ北陸信越ブロック比例候補の当選で、２００３年に失った北陸信越ブロックでの日本共産党の議席を必ず回復します。選挙区でも安倍暴走政治に対決する唯一の党として、議席獲得に果敢に挑戦します。

今回の解散・総選挙は、安倍暴走政治が国民の世論と運動によって追い詰められての選挙です。

集団的自衛権行使容認―「海外で戦争する国づくり」、消費税の増税、雇用と社会保障の大改悪、原発再稼働の推進、沖縄辺野古への新基地建設のおしつけなど、安倍政権が進めるどの問題も国民の強い反対の前に、深刻な矛盾と行きづまりに直面しています。消費税増税を先延ばしせざるを得なくなったのも、沖縄県知事選挙でのオナガ候補の勝利も、暴走政治の破たんを表すものです。議席で絶対多数を誇りながらも、解散に打って出ざるを得なくなったところに、安倍暴走政治と国民との矛盾の深刻さと、政権基盤の脆さを示しています。

　日本共産党は、「日本共産党の躍進で、安倍暴走政治ストップ、日本の政治の民主的転換」を実現する選挙として全力をつくします。今度の総選挙は、国民の審判によって、安倍暴走政治にストップをかけることができるチャンスの選挙です。憲法、基地、消費税、原発、雇用と社会保障、ＴＰＰ－安倍政権が進めるどの問題も、暴走の途上であり決着はこれからです。

　安倍暴走政治に、正面から対決するとともに、国民的対案を示し、国民との共同を広げてきた日本共産党が躍進してこそ、最も厳しい痛打を与えることになります。

　「戦争する国づくりは許さない」「くらしを破壊する消費税10％はキッパリ中止を」「原発再稼働許さない」「基地のない沖縄を」「ＴＰＰを許さず日本の農業をまもれ」など、切実な国民の願いを大きく結集して、日本共産党の勝利で願いを実現する選挙としていきます。

　民主党は自民党政治と対決する足場を持てず、「第３極」といわれた党は、安倍暴走政治の応援団の役割をはたす中、自民党政治の大本にある「財界・大企業いいなり」「アメリカいいなり」の二つの異常から抜け出し、政治を転換する方向を指し示しているのが日本共産党です。

　「自共対決」が鮮明になる中、「安倍暴走政治をなんとかしてほしい」「政治を変えたい」の国民の願いに真にこたえる事が出来る党として、選挙勝利へ全力をつくします。

　総選挙での党の躍進を必ずかちとり、昨年の都議選、参議院選挙での日本共産党の躍進の流れを、さらに本格的な流れにし、民主的な連合政府実現への新たな第一歩を踏み出していきます。

　比例代表選挙では、日本共産党、小選挙区では一区亀田良典、二区西村祐士、三区渡辺裕子に、有権者のみなさんの大きなご支援をこころからお願いします。